

(資料提供)

月 日	担当館名	電 話	担 当 者
4月13日	県立近代美術館	Tel: 088-668-1088 Fax: 088-668-7198	学芸課 森、吉川、 竹内、吉原

**所蔵作品展「徳島のコレクション2011-Ⅱ」
特集「平成22年度 新収蔵作品」の開催について**

1. 趣 旨

「20世紀の人間像」、「現代版画」、「徳島ゆかりの美術」という、当館コレクションの3つの柱でコーナーをつくる他、今年度は、5回の「特集」展示を行うことになりました。

「徳島のコレクション2011-Ⅱ」の会期中には、「平成22年度 新収蔵作品」と「親と子で見る名品」を開催いたします。この資料提供では、「特集：平成22年度 新収蔵作品」を中心に、6月26日までの展示予定をご案内いたします。

2. 会 期 : 特集「平成22年度 新収蔵作品」 4月16日〔土〕～6月26日〔日〕
(「徳島のコレクション2011-Ⅱ」の全会期は4月16日〔土〕～9月4日〔日〕)

3. 会 場 : 徳島県立近代美術館

4. 開館時間 : 午前9時30分～午後5時

5. 休館日 : 月曜日

6. 観覧料 : 一般 200円(160円)
高校・大学生 100円(80円)
小学生・中学生 50円(40円)
※()内は20名以上の団体料金。
※障害者、高齢者[65歳以上]は、観覧料が半額となります。
※小・中・高生は、土・日・祝日・振替休日の観覧料が無料になります。

7. 出品内容

【特集：平成22年度 新収蔵作品】 14点 (5月23日をはさんで一部作品を展示替えします)
会場 - 展示室1

このコーナーでは、平成22年度に収集した作品をご紹介します。当館ではじめて展示するお披露目の展覧会となります。

今村源(いまむら はじめ)の〈わたしにキク〉(2009年)は、針金状のステンレスを使って身体をつくっています。キノコの菌糸からできたような、軽さの感じられる立体作品です。針生鎮郎(はりう しずお)は、独立美術協会などで活躍した作家。〈負の覚書〉(1965年)はその代表作です。田中忠雄(たなか ちゅうお)の〈ガリラヤ湖〉(1963年)は、キリスト教の聖書の一場面を描いた作品。田中は、武蔵野美術大学教授や日本美術家連盟理事長などを歴任しました。

徳島の画家としては、**山下菊二**、**佐野比呂志**、**長尾弘子**の作品をご紹介します。山下は、現在の三好市井川町出身で、戦後日本を代表する画家の一人。ご遺族から 4000 点を超える作品・資料が寄贈されました。佐野と長尾は、戦後徳島の美術界を支えてきた画家といえるでしょう。

洋画家・佐野の〈ひとり〉(1970 年)は、独立展に出品された作品。重ねられたタッチのなかに人物が溶け込んでいくように感じられます。画風を確立した時期の作で、画家の代表作の一つです。日本画家・長尾の〈なす〉(1947 年)は、戦後すぐの第 2 回徳島県展で特選 1 席を受賞した作品です。若々しく素直な姿勢で写生に取り組んでいて、初期県展の雰囲気伝えていています。

なお、山下の寄贈作品と資料は、年明けの所蔵作品展(2012 年 2 月 4 日～4 月 8 日)で改めてご紹介する予定です。

【20 世紀の人間像】 20 点 会場 - 展示室 1

パブロ・ピカソ〈ドラ・マールの肖像〉(1937 年)やパウル・クレー〈子供と伯母〉(1937 年)など、当館を代表する名品を展示する他、「少女」、「家族の肖像」、「子どもたち」、という小コーナーを設けます。

「少女」 - 伊原宇三郎〈ゲレンデの少女〉(制作年不詳) など

「家族の肖像」 - 河井清一〈休み日〉(1928 年)やジャン・シャオガン(張曉剛)〈ファミリー・ポートレイト《全家福》〉(1993 年) など

「子どもたち」 - 奈良美智(なら よしとも)〈UNTITLED (BROKEN TREASURE)〉(1995 年) など

【徳島ゆかりの美術】 18 点 (5 月 23 日をはさんで一部作品を展示替えします) 会場 - 展示室 2

徳島出身作家、ゆかり作家の作品をご覧ください。今回は、**伊原宇三郎**、**河井清一**を中心にして、**広島晃甫**(ひろしま こうほ)、**市原義之**、**日下八光**(くさか はっこう)、**三宅克己**の作品をご紹介します。

伊原宇三郎〈窓からの港〉(1926 年)、河井清一〈夏の朝〉(1959 年) など

【現代版画】 21 点 会場 - 展示室 1

現代版画コーナーでは、「自然をみつめる」というテーマで連続した 4 回の小企画を行います。この期間の企画は下記の 2 回です。

①自然の心象(4 月 16 日～5 月 22 日)は、**村井正誠**、**菅井汲**(すがい くみ)の作品を紹介。自然の形から、抽象的なイメージをつくりだす面白さをお楽しみください。 13 点

②自然をみつめる眼(5 月 24 日～6 月 26 日)は、**秋岡美帆**、**内田智也**、**阪本幸円**(さかもと こうえん)、**出店久夫**(でみせ ひさお)、**武蔵篤彦**の作品を通して、自然を見つめるまなざしに注目します。 8 点

○この他に、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に 12 作家、12 点を展示します。

○展示作品の合計は、47 作家による 85 点となる予定です。

8. 関連事業

【学芸員による展示解説】

・ 4 月 17 日[日]、5 月 4 日[水・祝]

・ 午後 2 時 ～ 2 時 45 分 / 展示室 1・2 [2 階]

※ 観覧券をお求め下さい。